

アカデミックフェス 事後レポート

企画名：シンポジウム「マンガ・アニメ・ゲーム・特撮のミュージアム計画」

企画名（英語）：Symposium: Towards the establishment of a Museum for Manga, Anime, Games, and Tokusatsu

時間：13:00~18:00

会場：グローバルフロント 多目的室

登壇者：氷川竜介（国際日本学研究科特任教授）

三好寛（特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構（ATAC）事務局長）

辻壮一（特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構（ATAC）研究員）

真住貴子（国立新美術館主任研究員・教育普及室長）

伊藤遊（京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム研究員）

今泉真緒（株式会社ダズ代表取締役／立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員）

藤本由香里（国際日本学部専任教授）

宮本大人（国際日本学部専任准教授）

福地健太郎（総合数理学部専任教授）

中川大地（『PLANETS』副編集長／野生の科学研究所所員）

森川嘉一郎（国際日本学部専任准教授）

開催概要：

マンガ・アニメ・ゲーム・特撮の展示・保存・アーカイブ構築に関わる専門家を招き、拠点となるミュージアム施設の実施に向けたさまざまな角度からの検討を公開の場で実施。アニメ特撮アーカイブ機構による『ガンダム』や『マクロス』の原画等資料の保存や活用の事例など、具体的な資料や課題にフォーカスした討議を展開。

開催概要（英語）：

Panels composed of scholars and professionals involved in the preservation and exhibition of manga, anime, games and tokusatsu, highlighted multiple issues that need to be addressed in order to establish a museum encompassing the many materials related to those cultures. Members of the panels each introduced case studies of recent projects, including endeavors by the Anime Tokusatsu Archive Centre to preserve production materials of titles such as Gundam and Macross.

開催内容：

13:00 開催挨拶

13:03 「マンガ・アニメ・ゲーム・特撮のミュージアム計画」森川嘉一郎（明治大学国際日本学部准教授）

13:20 「アニメ・特撮のアーカイブの意義と可能性—アニメ特撮アーカイブ機構の取り組みと『機動戦士ガンダム』『超時空要塞マクロス』の資料活用事例」氷川竜介（明治大学国際日本学研究科特任教授）、三好寛（特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構（ATAC）事務局長）、辻壮一（特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構（ATAC）研究員）

14:30 小休憩

14:45 セッション1：「マンガ・アニメ・ゲーム・特撮の展示の諸課題」

・「国際展覧会のマネージメントと課題—国立新美術館と大英博物館の事例を中心に」真住貴子（国立新美術館主任研究員・教育普及室長）

・「日本の〈マンガ展〉の諸相—京都国際マンガミュージアムの事例を中心に」伊藤遊（京都精華大学国際マンガ研究センター／京都国際マンガミュージアム研究員）

・「3つのゲーム展の実務経験から」今泉真緒（株式会社ダズ代表取締役／立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員）

16:15 小休憩

16:30 セッション2：「アーカイブ対象の範囲の諸課題」

・「日本マンガの翻訳版と海外マンガの収集可能性」藤本由香里（明治大学国際日本学部教授）

・「“戦前の漫画”の区切り方：どこまでさかのぼるべきなのか」宮本大人（明治大学国際日本学部准教授）

・「ゲームアーカイブの実践：ケーススタディ『ゲームシナリオアーカイブ』」中川大地（『PLANETS』副編集長／明治大学野生の科学研究所所員）

・「SF資料の世界：柴野拓美コレクションのケーススタディ」福地健太郎（明治大学総合数理学部教授）

（司会： 森川嘉一郎）

以 上